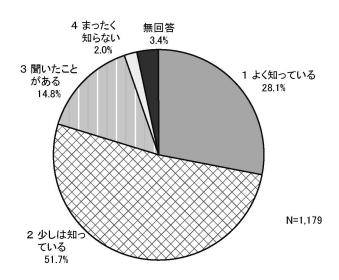
4 個別の人権問題

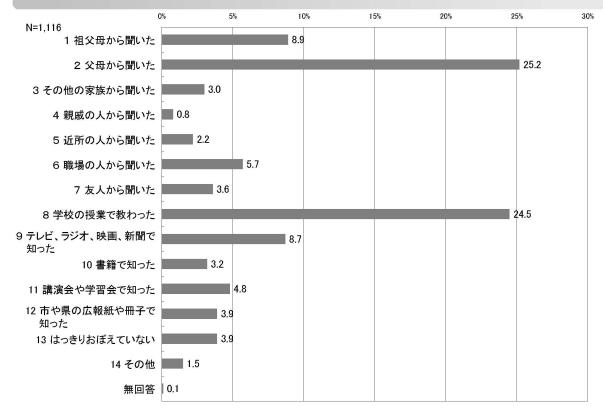
(1) 同和問題

問5 「同和問題」と言われる人権問題を知っていますか。(○は1つだけ)



「同和問題」と言われる人権問題を知っているかについては、「1 よく知っている」が28.1%、「2 少しは知っている」が51.7%、「3 聞いたことがある」が14.8%で、これらを合わせた94.6%が『知っている(計)』となっている。一方、「4 まったく知らない」は2.0%となっている。

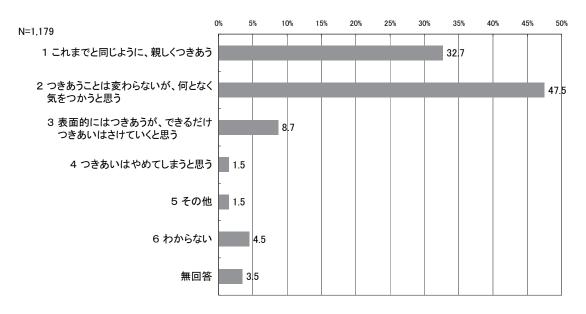
問 5-1 問 5 で 1 、 2 、 3 のいずれかを選ばれた方にお尋ねします。同和問題のことをどのようにして知りましたか。(\bigcirc は 1 つだけ)



同和問題をどのように知ったかについては、「2 父母から聞いた」が25.2%と最も多く、次いで「8 学校の授業で教わった」が24.5%となっており、この2項目で約半数を占めている。

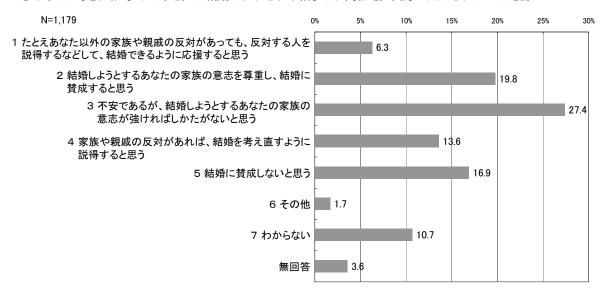
問6 すべての方にお尋ねします。仮に、次のような立場に立ったとしたら、あなたはどうしますか。 (○はそれぞれ1つだけ)

①あなたの職場や近所の人が、同和地区出身の人だとわかった場合



職場や近所の人が同和地区出身だと分かった場合の態度については、「2 つきあうことは変わらないが、何となく気をつかうと思う」が 47.5%と最も多く、次いで「1 これまでと同じように、親しくつきあう」が 32.7%となっている。一方、「3 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいはさけていくと思う」は 8.7%、「4 つきあいはやめてしまうと思う」は 1.5%となっている。

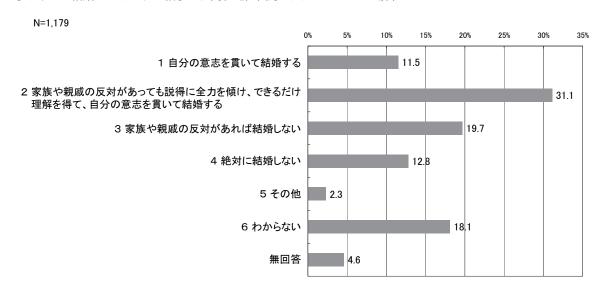
②あなたの家族(お子さんなど)が結婚しようとする相手が、同和地区出身の人だとわかった場合



あなたの家族(お子さんなど)と同和地区出身の人との結婚について、「3 不安であるが、結婚しようとするあなたの家族の意志が強ければしかたがないと思う」が27.4%と最も多くなっている。次

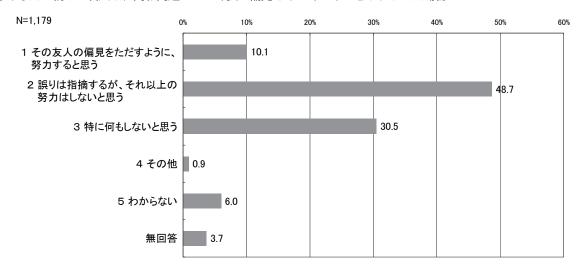
いで「2 結婚しようとするあなたの家族の意志を尊重し、結婚に賛成すると思う」が19.8%、「1 たとえあなた以外の家族や親戚の反対があっても、反対する人を説得するなどして、結婚できるように応援すると思う」が6.3%となっている。一方、「4 家族や親戚の反対があれば、結婚を考え直すように説得すると思う」は13.6%、「5 結婚に賛成しないと思う」は16.9%となっている。

③あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人だとわかった場合



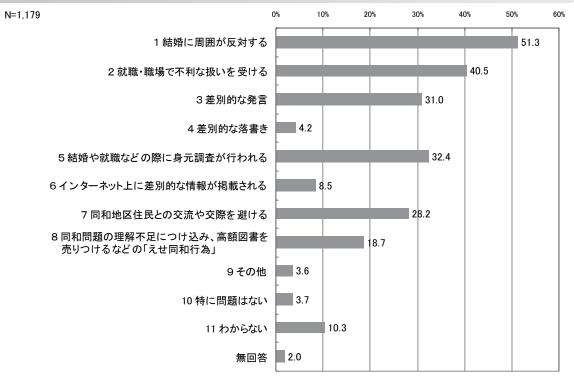
自分と同和地区出身の人との結婚について、「2 家族や親戚の反対があっても説得に全力を傾け、できるだけ理解を得て、自分の意志を貫いて結婚する」が 31.1%、「1 自分の意志を貫いて結婚する」が 11.5%となっており、これらを合わせた『結婚する(計)』は 4割を超えている。一方、「4 絶対 に結婚しない」は 12.8%、「3 家族や親戚の反対があれば結婚しない」が 19.7%と、これらを合わせた 『結婚しない(計)』は約 3割となっている。また、「6 わからない」は 18.1%となっている。

④あなたの親しい友人が、同和問題について強い偏見をもっていることがわかった場合

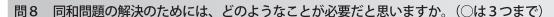


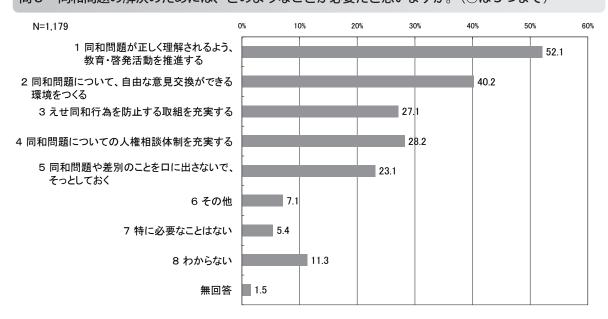
親しい友人が、同和問題に強い偏見をもっていることが分かった場合について、「2 誤りは指摘するが、それ以上の努力はしないと思う」が 48.7%と最も高く、次いで「3 特に何もしないと思う」が 30.5%、「1 その友人の偏見をただすように、努力すると思う」が 10.1%となっている。

問7 同和問題に関することで、人権上、特にどのようなことが問題だと思いますか。(○は3つまで)



同和問題に関することで、人権上、問題と思われることについて、「1 結婚に周囲が反対する」が51.3%と最も高く、次いで「2 就職・職場で不利な扱いを受ける」が40.5%、「5 結婚や就職などの際に身元調査が行われる」が32.4%、「4 差別的な発言」が31.0%、「7 同和地区住民との交流や交際を避ける」が28.2%、「8 えせ同和行為」が18.7%となっている。

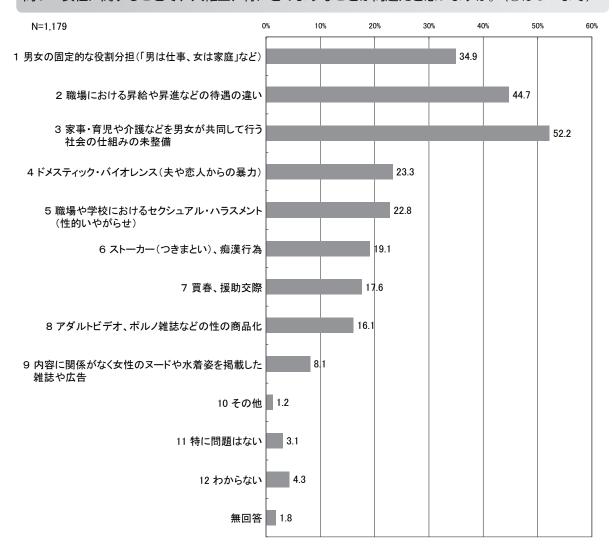




同和問題の解決のために必要と思われることについて、「1 同和問題が正しく理解されるよう、教育・啓発活動を推進する」が 52.1%と最も高く、次いで「2 同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」が 40.2%、「4 同和問題についての人権相談体制を充実する」が 28.2%、「3 えせ同和行為を防止する取組を充実する」が 27.1%となっている。

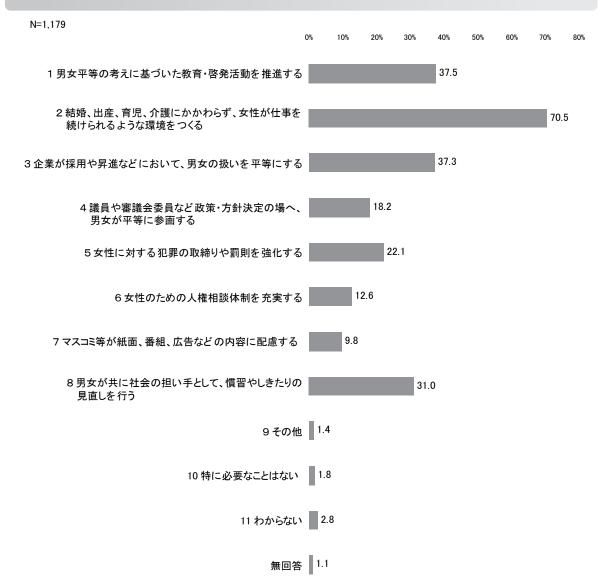
(2) 女性の人権

問9 女性に関することで、人権上、特にどのようなことが問題だと思いますか。(○は3つまで)



女性に関することで、人権上、特に問題があると思われることについて、「3 家事・育児や介護などを男女が共同して行う社会の仕組みの未整備」が 52.2%と最も多く、次いで「2 職場における昇給や昇進などの待遇の違い」が 44.7%、「1 男女の固定的な役割分担(「男は仕事、女は家庭」など)」が 34.9%となっている。

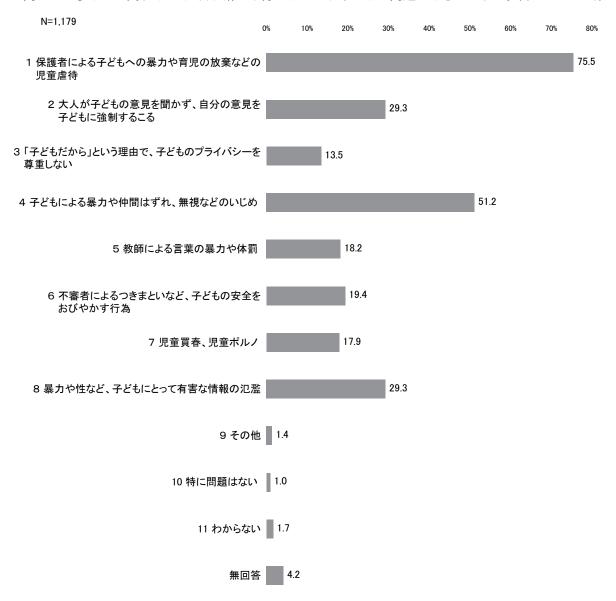
問10 女性の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)



女性の人権が守られるために必要と思われることについて、「2 結婚、出産、育児、介護にかかわらず、女性が仕事を続けられるような環境をつくる」が 70.5%と最も多く、次いで「1 男女平等の考えに基づいた教育・啓発活動を推進する」が 37.5%、「3 企業が採用や昇進などにおいて、男女の扱いを平等にする」が 37.3%、「8 男女が共に社会の担い手として、慣習やしきたりの見直しを行う」が 31.0%となっている。

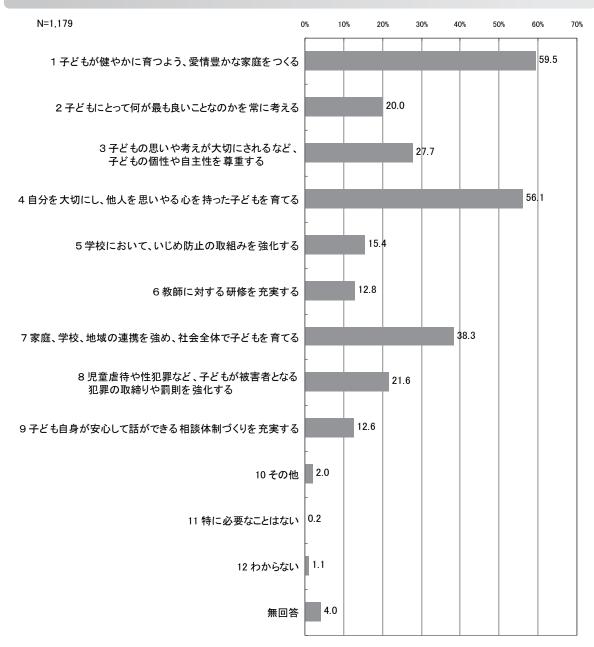
(3)子どもの人権





子どもに関することで、人権上、特に問題があると思われることについて、「1 保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待」が 75.5%と最も多くなっている。次いで「4 子どもによる暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ」が 51.2%、「2 大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに強制すること」と「8 暴力や性など、子どもにとって有害な情報の氾濫」が 29.3% となっている。

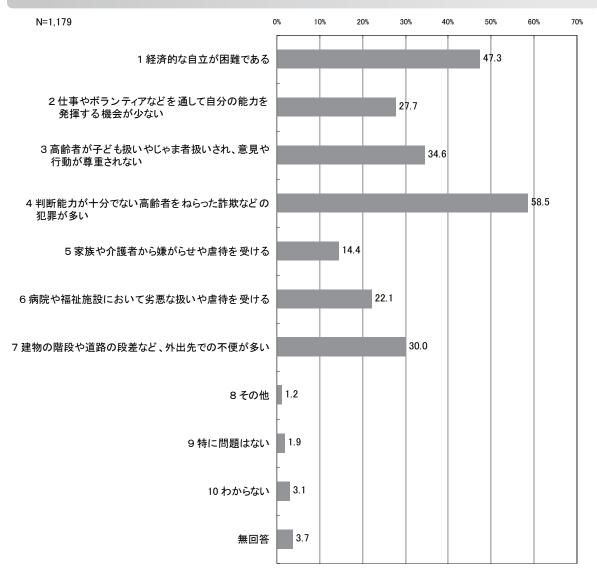
問12 子どもの人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)



子どもの人権が守られるために必要と思われることについて、「1 子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる」が 59.5%と最も多くなっている。次いで「4 自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」が 56.1%、「7 家庭、学校、地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる」が 38.3%となっている。

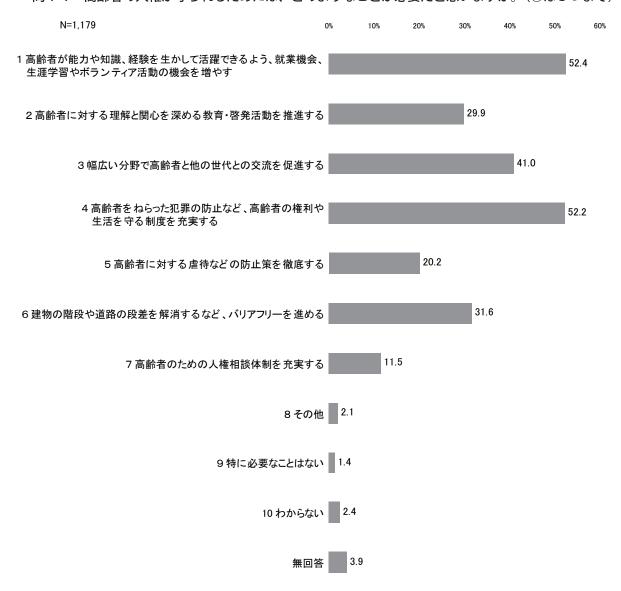
(4) 高齢者の人権

問13 高齢者に関することで、人権上、特にどのようなことが問題だと思いますか。(○は3つまで)



高齢者に関することで、人権上、特に問題があると思われることについて、「4 判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い」が 58.5%と最も多く、次いで「1 経済的な自立が困難である」が 47.3%、「3 高齢者が子ども扱いやじゃま者扱いされ、意見や行動が尊重されない」が 34.6%、「7 建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い」が 30.0%、「2 仕事やボランティアなどを通して自分の能力を発揮する機会が少ない」が 27.7%となっている。

問14 高齢者の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)



高齢者の人権が守られるために必要と思われることについて、「1 高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」が52.4%と最も多くなっている。次いで「4 高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の権利や生活を守る制度を充実する」が52.2%、「3 幅広い分野で高齢者と他の世代との交流を促進する」が41.0%、「6 建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める」が31.6%、「2 高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」が29.9%となっている。